

身体障がい者補助犬について



身体障がい者補助犬とは、目・耳・手足に障がいのある人の生活をサポートする「盲導犬」「聴導犬」「介助犬」のことで、「身体障がい者補助犬法」に基づき認定された犬で、特別な訓練を受けています。障がいのある人のパートナーであり、ペットではありません。きちんと訓練され管理も行われているので、社会のマナーも守れますし、清潔です。補助犬ユーザーがハーネスや表示をつけた補助犬を同伴しているとき、補助犬は「工作中」です。



視覚障がいのある人が、街なかを安全に歩けるようにサポートします。障害物をよけたり、立ち止まって曲がり角を教えたりします。ハーネス（胴輪）を付けています。



聴覚に障がいのある人に音を知らせます。お湯が沸いた音、ドアチャイム、電話の着信音などを聞き分けて伝えます。「聴導犬」と書かれた表示を付けています。



手や足などに障がいのある人の日常生活動作をサポートします。電気をつけたり、ものを拾って渡したり、着衣・脱衣の介助などを行います。「介助犬」と書かれた表示を付けています。

工作中的補助犬への接し方…

- 工作中的補助犬には、話し掛けたり、じっと見つめたり、勝手に触ったりして気を引く行為をしないようにしましょう。
- 補助犬に食べ物や水を与えないようにしましょう。ユーザーは与える食事、水の量、時刻をもとに犬の排せつや健康の管理をしています。
- 補助犬が通路をふさいだり、周囲のにおいを嗅ぎ回ったり、その他、何か困った行動をしている場合は、そのことを補助犬ユーザーにはっきり伝えてください。ユーザーが気付いていない場合もあります。